

総合運用3：大衆文化

【時間・コマ数】

週4日 全50コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

6-8人、2-3クラス

【到達目標】

- ・総合運用 I、II に引き続き、日本語の運用能力を総合的に向上させる
- ・広い意味での日本の「大衆文化」に関して、自分の意見が述べられ、議論ができるようになる

【授業概要】

「CM」「映画とオタク」「マンガと教育」「ことばと音楽」という4つのテーマを取り上げ、様々な資料を読み視聴覚資料を見た上で、ディスカッションを行う。それぞれのテーマには、学生が分析し発表をするアクティビティが設けられており、各テーマが終わる毎に作文の提出が求められる。コースの最後には、5つめのテーマとして「これって文化？」というタイトルで、学生自身に「文化」と思われる事象を発表させ、大衆文化の輪郭を探る。

【授業テーマ・内容】

CM	テレビ、商業主義、イメージの資本主義、AC
映画とオタク	ヒロイン像、「おくじらさま」、「千と千尋の神隠し」
漫画と教育	ポストモダン、少女小説、女性性、教育と漫画、3.11
ことばと音楽	俳句、高級音楽と低俗音楽、ヴァーチャル

など

【教材】

自作教材

【その他】

「[「3.11」日本語プロジェクト](#)」アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター

以上